

経営層/管理部/システム担当者向け SCS評価制度/セキュリティ勉強会のご案内

※よりセキュリティ対策への理解を深めていただくため、
経営者様、管理部/システム担当者様及び兼任者様の2名でのご参加を推奨しております。

開催日程

2026年 9月 4日(金)

午前の部 10:00～12:00

午後の部 14:30～16:30

※各回ともに開始30分前から受け付け開始いたします。

申込期限 9月3日(木) ※定員に達し次第締切とさせていただきます。

特別 招待

～取引先から選ばれる企業へ～ SCS評価制度の最新動向と活用方法を徹底解説

近年、サプライチェーン全体でのセキュリティ対策強化が求められる中、
SCS評価制度への対応は企業価値を高める重要な取り組みとなっています。

本勉強会では、SCS評価制度の最新動向や評価のポイントをわかりやすく解説するとともに、
評価向上につながる具体的な対策や活用方法をご紹介します。

「何から取り組めばよいのかわからない」

「取引先からどのようなセキュリティ対策を求められるのか不安」

「評価制度を自社の競争力向上につなげたい」

そのようなお悩みをお持ちの企業様におすすめの内容です。

当日は、実際の評価項目を踏まえた対策事例のご紹介に加え、貴社の課題に応じたセキュリティソリューションについても個別にご相談いただけます。最新情報の収集と実践的な対策検討の場として、ぜひご参加ください。

対象 経営層・経営企画・IT・経理・人事総務部門

参加費 無料（定員制）

主催 株式会社オービックオフィスオートメーション

主催 キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お申し込み 下記URLもしくはQRコードよりお申し込みください。

会場

CANON INNOVATION LAB “WITH”
「オンラインスタジオ／共創ラボ」

〒108-8011 東京都港区港南2-16-8
キヤノン S タワー2F

アクセス -公共交通機関をご利用の場合-
JR品川駅港南口より徒歩8分
京浜急行品川駅より徒歩約10分

※ 駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください



https://www.oa.obic.co.jp/contact/form_20260904.html

本勉強会は経営者様、管理部/システム担当者様及び兼任者様向けの内容となっております。
ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加ください。

※勉強会内容につきましては予告なく変更させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※本勉強会は、法人向けエンドユーザー様を対象とした勉強会でございます。個人の方・同業の方のご参加はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

※お申し込み多数の場合、ご受講頂けない場合がございます。

※勉強会の資料や社内掲示にて、貴社名を掲載させていただく場合がございます。

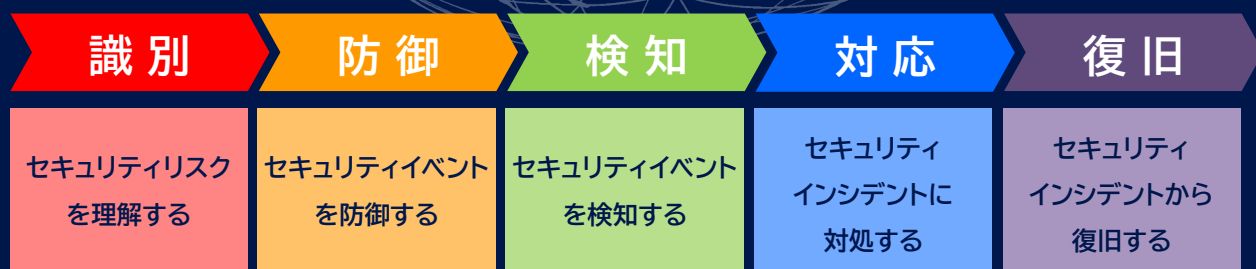
<講師紹介>

- 名前: 村佐 忠則 (むらさ ただのり)
- 所属: キヤノンマーケティングジャパン株式会社
ソリューション事業推進本部
主席 ソリューションスペシャリスト



- ・一般社団法人 中小企業個人情報セキュリティ推進協会認定 DXアドバイザー
- ・IPA登録 セキュリティプレゼンター
- 勤務: 大阪(20年)→ 名古屋(8年)→ 大阪(2年)→ 現在: 東京(5年)
- 出身: 大阪府枚方市
- 略歴: 1990年: システムエンジニア(SE)としてキヤノン販売(現: キヤノンマーケティングジャパン)入社
お客様の業務課題からシステム化への要件定義、設計、開発、導入、および運用サポートを担当
2018年: ITソリューション部門 部長として全国のITS事業、及び商談支援を統括
現在も、お客様の業務課題、DX推進、セキュリティ課題などに対し、ITを活用したご提案活動を実施しています

➤ サイバーセキュリティ対策『5つの備え』



NIST※ が定義する、サイバーセキュリティのリスク管理にともなう一般的な分類法および手法である

「Cybersecurity Framework(サイバーセキュリティフレームワーク)」をもとにお客さまの課題を整理し、必要なセキュリティ対策を『5つの備え』として提案します。

※ NIST: National Institute of Standards and Technology(米国国立標準技術研究所)
科学技術分野における計測と標準に関する研究を行う米国商務省に属する政府機関であり、情報技術に関する6分野の研究を行っているITL(ラボ)にて、コンピュータセキュリティの研究・文書発行を実施

➤ 参考サイト 警察庁サイバー警察局

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/index.html>

